

# 対称詞の待遇性による使用制限

—日本語・朝鮮語・中国語の社会言語学的対照の観点から—

高木裕子

実践女子大学人間社会学部

宋善花

東南大学外国語学院日本語科

## 1. はじめに

人称詞は人を指すことばとして、その言語によって種類や使用範囲などで異なりを見せる。人称詞が人間関係のあり方を表すという点においては共通するものの、その使用実態では、上下関係、親疎関係、性別などの対人的要因あるいは場面的要因など様々な要因により左右される。この人称詞は、指示の対象により、「自称詞」「他称詞」「対称詞」に分けられる。

さて、聞き手は話し手とともに会話の直接参加者である。この条件において、「対称詞」は聞き手に直接言及することばとして、「自称詞」「他称詞」に比べ、待遇性が強いと言え、この「対称詞」の性質には、異なる二つの用法がある。一つは呼格的用法であり、もう一つは文内指示用法である。

本稿では、このような「対称詞」の性質を踏まえつつ、会話文における「対称詞」の使用実態の分析に焦点を置き、そのための分析資料として、日常生活の対話に極めて近いと考えられるテレビドラマを取り上げる。テレビドラマにおける日本語・朝鮮語・中国語での「対称詞」の使用実態（以下、「翻訳資料」「補助資料」を指す）を明らかにしながら、これを待遇性との関連から、三言語の「対称詞」として分析する<sup>1</sup>。その上で、ここに表れた同一指示対象に対する「対称詞」の使い分けがどのようなメカニズムで行われているのかを検討・考察する。

<sup>1</sup> 使用実態として収集したテレビドラマの各作品とそれぞれの回は、次のとおりである。

①「白い巨塔」第8話と第11話、計140分 ②「冬のソナタ kyewul yenka」第1話～第4話、計220分  
③「パリの恋人 phali-uy yenin」第13話と第14話、計90分 ④「夏の香り yelum hyangki」第13話と第14話、計110分 ⑤「秋の童話 kaul tonghwa」第10話と第11話、計110分 ⑥「半路夫妻」第4話と第13話、計90分 ⑦「中国式離婚」第8話と第13話、計90分。内、②③④⑤の作品からは、原作言語である朝鮮語のデータ、及び、翻訳言語である日本語と中国語のデータを収集した。これは「翻訳資料」と称す。一方、①⑥⑦の作品は「補助資料」と称す。

## 2. 「対称詞」の呼格的用法

「対称詞」の呼格的用法は、聞き手の注意を引いたり、聞き手にある感情を表したりする用法で、指示機能は持っていない。この意味において、いわゆる「対称詞」の呼格的用法は呼びかけ語と呼ばれ、この呼びかけ語には、以下のような特徴がある。

### 2.1 呼びかけ語の種類と用法

呼びかけ語には、親族名称や地位名称や名前などが一般的に用いられるが、どのような呼びかけ語をもって聞き手と呼ぶかは、話し手と聞き手との人間関係によって左右される。形式的な側面から見れば、三言語の呼びかけ語間での最も大きな相違点は、日本語と朝鮮語には呼称接尾辞「～さん」や「～ssi」などがあり、中国語には呼称接頭辞「老 lao～」と「小 xiao～」があることである。また、この呼びかけ語を三言語の用法で見ると、三つの相違点がある。一つは日本語における人称代名詞の呼格的用法であり、もう一つは朝鮮語と中国語両言語の目下に対する親族名称の呼格的用法、そして、三つ目は朝鮮語と中国語両言語における「苗字+名前」のフルネームによる呼格的用法である。

以上を踏まえ、まず、日本語における人称代名詞の呼格的用法から詳しく見ていく。

鈴木（1999：129）はこの点に関し、次のように述べる。

話し手（自己）は、目上目下の分割線の上に位する親族に人称代名詞を使って呼びかけたり、直接に言及したりすることができない。…中略…これと反対に分割線より下の親族には、すべて人称代名詞で呼びかけたり、言及したりできる。…中略…親族（家族）内の対話に見られる自称詞、対称詞の使い方の原則は、殆どそのまま家族外の社会的状況にも拡張的に当てはめることができる。

この人称代名詞の呼格的用法をテレビドラマで見れば、次の（1）と（2）のようである<sup>2</sup>。

(1) 里見助教授・男 → 亀山看護師・女（部下）

君、佐々木さんの担当医は？ (白い巨塔)

(2) 金教授・男 → ジュンサン・男（目下）

K : haksayng, hoksi nal chacaon-ke aniska?  
学生 もしかしたら わたしを 訪ねて来たの でないか

J : 君、待って、私に用があったんだろう？

<sup>2</sup> 朝鮮語のローマ字表記は Yale 式表記法による。例文中で、「K」は朝鮮語を、「J」は日本語を、「C」は中国語を表す。

C: 同学! 你 是 来 找 我 的 吧?

学生 あなた である 来る 訪ねる わたし の (終助詞)

(冬のソナタ)

これらを見てもわかるように、すべての人称代名詞は、呼びかけ語として用いられるのではなく、(1)と(2)に挙げられたように、それは「君」と妻が夫を呼ぶ際の「あなた」に限られる<sup>3</sup>。尚、(1)は、話し手(里見助教授)が聞き手(亀山看護師)に呼びかける場合で、その呼びかけ語には、「君」が用いられているが、朝鮮語と中国語の二人称代名詞には、このような呼格的用法はない。また、(2)は、話し手の金教授が高校生に呼びかける用例で、朝鮮語と中国語では、普通名詞「haksyang (学生)」と「同学 (学生)」が用いられている。これに対し、日本語では二人称代名詞の「君」が用いられている。仮に(2)において、朝鮮語と中国語で、日本語と同じように「学生」の代わりに二人称代名詞「ne」と「你」が使われたとすれば、この場合、朝鮮語と中国語での二人称代名詞は、聞き手への呼びかけにはならない。つまり、聞き手への注意喚起でなく、聞き手を指示する役割を果たす。

次に、朝鮮語と中国語両言語の目下に対する親族名称の呼格的用法を見る。

鈴木(1999)では、日本の親族内で話し手が目下に対し親族名称で呼ぶのは不可能と述べている<sup>4</sup>。これに対し、朝鮮語と中国語では、(3)と(4)のように、親が息子に呼びかけることができる。

(3) ピルボ・男 → ゴン・男 (息子)

atul-a, thayyeng-i nwuna-hako ku kulay ku pik acwu simha-key

息子よ テヨン お姉さんと その〈言いよども〉 その 大きい とても すぐく

pik lichihan hansacang-hako thayyeng-i nwuna-hako i lepulepu-lul

大きい 金持ちの ハン社長と テヨン お姉さんと 〈言いよども〉 ラブラブを

hay-yamani ni-hako nay-hako phalca phinunke aika.

するだけが お前と わたしと 運 開ける でないか

(パリの恋人)

(4) 江建平の母・女 → 江建平・男 (息子)

儿子, 走吧, 饭 做好 了。

息子 行こう ご飯 出来上がる (終助詞)

(半路夫妻)

尚、(3)は、父親の、姉とお金持ちのハン社長との交際を好ましく思わない息子に対する発話

<sup>3</sup> 「あなた」のこの特殊な用法は、ここで言及しない。尚、朝鮮語にも夫婦の間に限って、二人称代名詞「dangsin (あなた)」が用いることができるが、ここでは言及しない。

<sup>4</sup> 日本語において、目下を親族名称で呼ぶのは、演劇などの特別なジャンルに限られる。

である<sup>5</sup>。(4)は、離婚した息子とその前妻の仲直りを望む母親が、息子を前妻のところに行かせようとしている場面の発話である。親族内では目上が名前が目下に呼びかけるのが一般的であるが、(3)と(4)では、息子に対し通常の呼びかけ語の「ken-a (ゴン)」や「建平」でなく、親族名称の「atul-a (息子よ)」「儿子 (息子)」で呼びかけている。これは、同じ聞き手を指示するにあたり、通常の呼びかけとは異なる、際立った用法であり、何らかの特別な意味合いを表す。ここでの親族名称は、話し手と聞き手の親子関係などの「ウチ」を表す語である。このことから、ここでは相互の役割を確認することで、聞き手の機嫌を取ろうとする特別な思いが表れていると考えられる<sup>6</sup>。

その上で、以下に示す「苗字+名前」のフルネームの呼格的用法における固定した人間関係では、話し手は一貫して同一の呼びかけ語で呼びかける傾向があることがわかる。しかし、朝鮮語と中国語では、普段は名前で呼ぶ相手に対しても、場合によってはフルネームで呼ぶ場合がある。(5)と(6)は、その朝鮮語と中国語での用例である。

(5) ギジュ・男 → スヒョク・男 (甥)

yunswuhyek! pianyangkelinun key ni mwuki-ko sillyek-imyen hoysa tangcang kumantwe.  
 ユン・スヒョク 憎まれ口をきく ことお前の 武器で 実力 ならば 会社 すぐ やめろ  
 (パリの恋人)

(6) 宋建平・男 → 劉東北・男 (年下の知合い)

刘东北, 你 不 觉得 你 自己 过分 哪?  
 劉東北 あなた〈否定〉思う あなた 自身 行き過ぎる〈疑問詞〉  
 (中国式離婚)

つまり、(5)と(6)で、話し手は普段名前の「スヒョク」「東北」で聞き手に呼びかけている。しかし、ここでは普段とは違うフルネームで、つまり苗字まで付けて呼ぶことで、話し手の聞き手に対する「いつもと違うんだよ」という発話当時の暫時的な心理変化を表していると考えられる。また、フルネームで呼びかけることは、名前で呼びかけるより、聞き手との距離を置くものであるため、聞き手に対する怒りや非難などのネガティブな意味を表すことも多い。この意味では、フルネームによる呼びかけは、日本語では見られない用法であると言える。

以上、三言語における呼格的用法の相違点について述べた。

要約すれば、呼びかけ語の主な機能は、聞き手に対する注意喚起であるが、朝鮮語と中国語では注意喚起の機能以外に、話し手の発話時の聞き手に対する暫時的な感情を表すことができると考えられる。

<sup>5</sup> 朝鮮語には呼称助詞「-a」と「-ya」の二つがある。前者は子音で終わる呼びかけ語に付き、後者は母音で終わる呼びかけ語に付く。

<sup>6</sup> 本論文のデータにはないが、朝鮮語と中国語では兄弟姉妹の間でも目下に対し親族名称で呼びかけることがある。

次に、呼びかけ語の中での親族名称について考える。

## 2.2 親族名称の虚構的用法

鈴木（1999）によれば、親族名称には二種類の虚構的用法がある。一つは血縁関係のない他人に対し、親族名称を使って呼びかける際の用法で、もう一つは話し手が聞き手との関係を自分の立場で見るとでなく、子供の立場から見直す用法である。前者の例としては、若い人が他人の年配者に対し、「おじいさん」と呼ぶものなどが挙げられ、後者の例としては、妻が自分の夫を子供の立場から見た「パパ」「お父さん」などの父関連語で呼ぶものなどが挙げられる。ここでは、血縁関係のない他人に対し、親族名称で呼びかける際の親族名称の虚構的用法に焦点をあてる。

血縁関係のない聞き手に対し、親族名称で呼びかけている用例をすべて取り出したものが表1である。この表1を見てもわかるように、12の人間関係の内、朝鮮語では、すべての人間関係において親族名称（網かけの部分）が用いられ、中国語では、1つの人間関係を除いた11の人間関係において、それが用いられていた。この意味において、朝鮮語と中国語における親族名称での虚構的用法は類似している。その一方で、日本語では、4つの人間関係において親族名称が用いられており、それ以外の8つの人間関係では「名前+さん」などで呼びかけていることがわかる。このことから、日本語よりは朝鮮語と中国語の方が、より多くの人間関係において、日常的に親族名称の虚構的用法が用いられていると言える。これは、宋（2003）やLim（2006）の調査で、日本語より朝鮮語の方で親族名称を多用している傾向にあることを支持するものであった。

その上で、さらに日本語における親族名称の虚構的用法が用いられている4つの人間関係を見ると、その内、2例（「お兄ちゃん/スヒョクお兄ちゃん」「お兄ちゃん」）は、幼児の大人に対する呼びかけである。また、2例（「お母様」「お父様」）は、話し手の先輩・婚約相手の親に対する呼びかけである。しかし、年上の同僚に対する呼びかけなどの大人同士の人間関係においては、「先輩」あるいは「名前（+さん）」で呼びかけている。一方、朝鮮語と中国語では、「兄」あるいは「姉」類の親族名称が用いられている。

尚、ここで注目したいのは、呼称接尾辞の「～さん」と「～ssi」の使用範囲の相違である。上述の宋（同上）では、日本語の呼称接尾辞「～さん」は、性別・世代・親疎などの人間関係をほとんど考慮に入れず、広範囲で用いられるのに対し、朝鮮語では「～さん」のような呼称接尾辞はなく、「～さん」と「～ssi」という用い方に大きな相違があるとされている。このような相違が生まれる背景には、朝鮮語の呼称接尾辞「～ssi」は、日本語の呼称接尾辞「～さん」に比べ、聞き手（他人）に近づこうとする機能が弱いことが挙げられる。これは、親族名称の虚構的用法が日本語より朝鮮語の方でより多くの人間関係で用いられることに関わる。一方、中国語には「小姐（対女性）」「先生（対男性）」などの呼称接尾辞はあるが、これらは疎の人間関係や改まった場合に用いられ、聞き手に近づけようとする機能性はない。よって、聞き手に近づこうとする言語手段が逆に親族名称の虚構的用法の多用さに繋がってしまっている。

表1 非親族の聞き手に対する親族名称の用法（「翻訳資料」）

話し手と聞き手の人間関係	言語	日本語	朝鮮語	中国語
ウンソ・女 → テソク・男（年上の知合い）	テソク	テソク	oppa/thaysek oppa （お兄さん/テソクお兄さん）	秦錫哥（テソクお兄さん）
ウンソ・女 → ユミ・女（元恋人の彼女）	ユミさん	ユミさん	enni（お姉さん）	幼美姐（ユミお姉さん）
ゴン・男 → スヒョク・男（義理の姉の友人）	お兄ちゃん/ スヒョクお兄ちゃん	お兄ちゃん/ スヒョクお兄ちゃん	hyeng/swuhyek-ihyeng （お兄さん/スヒョクお兄さん）	秀賀哥哥（スヒョクお兄さん）
サンヒョク・男 → チョンア・女（恋人の年上の同僚）	チョンアさん	チョンアさん	nwuna（お姉さん）	晶雅（チョンア）
チョンア・女 → チャンミ・女（年上の知合い）	チャンミさん	チャンミさん	enni/cangmienni （お姉さん/チャンミお姉さん）	玫瑰姐（チャンミお姉さん）
チョンア・女 → ミヌの母・女（先輩の母親）	お母様	お母様	emeni/emenim（お母さん/お母様）	伯母（おばさん）
ヒジン・女 → ジュンサン・男（姉の同級生）	お兄ちゃん	お兄ちゃん	oppa（お兄さん）	哥哥（お兄さん）
ハウォン・女 → チャンミ・女（年上の同僚）	先輩	先輩	enni（お姉さん）	姐姐（お姉さん）
ハウォン・女 → チョンジェ・男（元恋人）	チョンジェ	チョンジェ	oppa（お兄さん）	哥（お兄さん）
ミヌ・男 → テプン・男（年上の同僚）	先輩	先輩	hyeng（お兄さん）	哥（お兄さん）
ユジン・女 → チョンア・女（年上の同僚）	チョンアさん	チョンアさん	enni（お姉さん）	晶雅姐（チョンアお姉さん）
ユナ・女 → ハン会長・男（婚約相手の父親）	お父様	お父様	apenim（お父様）	伯父（叔父さん）

### 3. 対称詞の文内指示用法

では、上記の点を「対称詞」での文内指示用法で見ただけの場合には、どうなるのでしょうか。

「対称詞」の文内指示用法は、文中で主語、目的語、連体修飾語の文法的な機能を持つものである。まず、表1の「翻訳資料」に表れた日本語・朝鮮語・中国語における文内指示用法の「対称詞」の形式と出現数を改めて表2に示す。

表2 三言語における「対称詞」の文内指示用法の形式と出現数（「翻訳資料」）

種類 言語	二人称代名詞		親族名称	地位名称	名前	その他	計(例数)
	単数	複数					
日本語	163 (38.9)	6 (1.4)	35 (8.4)	16 (3.8)	161 (38.4)	38 (9.1)	419 (100.0)
朝鮮語	334 (54.6)	17 (2.8)	65 (10.6)	19 (3.1)	142 (23.2)	35 (5.7)	612 (100.0)
中国語	1000 (82.6)	53 (4.4)	36 (3.0)	15 (1.2)	74 (6.1)	32 (2.6)	1210 (100.0)

( ) 内は出現率%

この表2を見る限り、三言語とも多様な形式の「対称詞」が用いられていることがわかる。また、各言語における使用状況では、中国語で二人称代名詞が9割近く（87%）占め、これが文内指示用法の中心となっていることがわかる。他方、朝鮮語での二人称代名詞の比率も約6割（57.4%）と高いが、二人称代名詞以外の形式での出現数の比較では、中国語ほど大きな差はない。これに対し、日本語での二人称代名詞の出現率は4割（40.3%）で、二人称代名詞以外の形式での出現率の方がより高い。特に、名前では二人称代名詞でのものと同じ程度の頻度で使われている。さらに、これを三言語における総出現数で比較して見ると、「対称詞」が省略される傾向は、日本語で最も高く、次いで朝鮮語、中国語の順になっている<sup>7</sup>。

上記に示したような結果において、日本語・朝鮮語・中国語における二人称代名詞の単数形での用例数は、それぞれ163例、334例、1000例で、かつ名前での用例数はそれぞれ161例、142例、74例であったことから、この二つの形式における「対称詞」の使用頻度には大きな違いが見られたと言えた。

#### 3.1 二人称代名詞の用法

では、三言語の二人称代名詞の単数形は、どのような形式の「対称詞」と対応しているのか

<sup>7</sup> 三言語の対称詞の使用頻度の差を生み出した構文上の要因については、別稿に譲りたい。

ろうか。同じ「翻訳資料」の同一箇所、この三言語の二人称代名詞の単数形がどのような形式の「対称詞」と対応しているかを各パターンに分け、示したのが表3である。尚、表中の「-」は、「対称詞」が省略されている場合を指している。

まず、日本語の二人称代名詞から見る。

日本語の二人称代名詞では、「あなた」「お前」「君」「あんた」が用いられ、その種類は多く、男女の区別もある。これら特徴から、日本語の二人称代名詞は、一人称代名詞の特徴と対称性を成していると言える。この点に関して、金丸（1993）は、「お前」や「君」は男性専用語で、女性専用語にはないものであるが、「あなた」は男性より女性で使用範囲が広いとする。よって、これを表4の「補助資料」での「あなた」の男女の使い分けで見てみると、女性が話し手である場合の用例数は15例、男性が話し手である場合の用例数は11例で、男性より女性の方でその使用頻度が高い。とは言え、その差は顕著であるとは言えない。表4の【翻訳資料】での「あなた」の男女の使い分けを見ても、女性が話し手である用例数は70例で、男性が話し手である用例数は3例である。この結果を見ても、女性が「あなた」を用いる使用頻度は、男性より高いと言える。男性専用語には、ぞんざいな待遇意識を表す「お前」や「君」などの二人称代名詞があるのに対し、女性専用語の二人称代名詞にはそれがなく、構造的に非対称性を成していることがわかる。元々相手を敬って指す語としてあった「あなた」が、今日敬意を薄め、使用範囲が広がったことで、使用状況に影響を与えていることは想像に難い。このことは一方で、女性の方に「あなた」を使用する傾向が強いのは、男性より女性の方で、より丁寧な言葉遣いが要求されるという日本の文化と関わっているのかもしれない。

以上をまとめれば、まず日本語の二人称代名詞は、上下関係、親疎関係、性別によって用法は異なると言えるが、目上に対して二人称代名詞で呼ぶことは、非常に失礼な言語行動とされ、目上に対して用いられるものではない。つまり、この点においては、他の二言語とも共通しており、それは二人称代名詞の複数形においても単数形と同様、対応する使用制限や待遇性があると言えた。

次に、朝鮮語の二人称代名詞を見る。

朝鮮語の二人称代名詞の単数形には、「ne」「caney」「tangsin」が用いられ、多種類あると言え、この点について、姜（1998）は、「ne」は同等及び目下に対して用い、「caney」は中年の人が自分の品位を保ちながら、目下を呼ぶ時に用いるとする。また、「tangsin」は、夫婦間では尊称として用いられるが、話しことばでは、言い争いや喧嘩などのネガティブな意味の時に用いられることが多いと言う。共に夫婦間での呼称に用いるという点では、日本語の「あなた」と朝鮮語の「tangsin」は、その用法が非常に似ている。ただし、話しことばの「あなた」は、ネガティブな意味を表すとは言えず、朝鮮語の「tangsin」とかなり異なりを見せる。さらに、朝鮮語の二人称代名詞は、日本語の二人称代名詞同様、原則目上に対しては使えないが、日本語の場合のように、男女による使用の区別はない。

これらに対し、最後の中国語の二人称代名詞において、最も一般的に使われているのは、「你」とその敬称である「您」であり、現代中国語にはこの二つしかない。「你」は、男女を問わず、同等や目下だけでなく、目上にも用いられ、日本語と朝鮮語のような使用上の制限がほとんどない。表3を見てわかるように、「你」は日本語と朝鮮語の二人称代名詞と名前（呼称接尾辞）、そして、主に目上を呼ぶ親族名称や地位名称などの形式に対応している。このことから、中国語の二人称代名詞の使用範囲が日本語や朝鮮語より遥かに広いことがわかる。尚、「你」の敬称の「您」は、日本語と朝鮮語の二人称代名詞にはない語彙で、尊敬あるいは疎遠を表している。特に、目上に対する呼称の「你」と「您」は、聞き手との人間関係や場面によって使い分けられ、親近感を表したり、尊敬・疎遠の感情を表したりする。

表3 二人称代名詞の単数形の対応する各パターン

日本語		朝鮮語		中国語		小計	合計
—		—		二人称 代名詞	你 — 您	537 21	558
—		二人称 代名詞	ne — caney — dangsin	你		143 7 1	151
二人称 代名詞	お前	二人称 代名詞	ne	你		50	112
	あなた／あんた		ne			40	
	君		ne			13	
	君		caney			5	
	あなた		dangsin			4	
名前（さん）		名前（ssi）		你		59	59
名前（さん）		二人称代名詞		你		49	49
親族名称／地位名称		親族名称／地位名称		二人称 代名詞	你 — 您	15 6	21
二人称 代名詞	あなた	—		你		15	21
	君					6	
—		親族名称／地位名称		二人称 代名詞	你 — 您	18 2	20
—		ne		—		17	17
—		名前（ssi）		你		17	17
その他の対応パターン						75	75

表4 男女による「あなた」の使用

【翻訳資料】				【補助資料】			
聞き手 話し手	女性	男性	計	聞き手 話し手	女性	男性	計
女性	24	46	70	女性	3	12	15
男性	1	2	3	男性	8	3	11

以上の分析・考察を踏まえ、改めて表2を見直してみたい。

表2に示したように、諸形式の中で、二人称代名詞に次いで使用頻度の差が大きかったのは名前である。日本語・朝鮮語・中国語それぞれの用例数は161例(38.4%)、142例(23.2%)、74例(6.1%)で、最も多かったのは日本語、次いで朝鮮語、そして中国語であった。これは、「対称詞」の文内指示用法の総出現数と相反している結果であった。名前の使用頻度にこのような傾向が見られたのは、日本語と朝鮮語の二人称代名詞に様々な使用制限がある上に、文中で「対称詞」を示さなければならぬ構文論上の必要性や制約があるためと考えられる。このようなことから、日本語と朝鮮語の二人称代名詞の使用は、聞き手との人間関係に左右されることが多く、二人称代名詞そのものが待遇性を持っていると言えた。

では、二人称代名詞が日本語や朝鮮語のように、使用制限のない中国語では、どのような形式で、この待遇性が補われるのであろうか。次節では、改めてこの中国語における「対称詞」の待遇表現について考える。

### 3.2 中国語における「対称詞」の待遇表現

#### 3.2.1 「你」と「您」の使い分け

上述してきたように、日本語と朝鮮語の二人称代名詞は、いわば話し手及び聞き手の属性によって選択される。これに対し、中国語の二人称代名詞にはこのような制限がない。また、同一人物に対して、日本語と朝鮮語では一貫して同じ二人称代名詞が用いられる傾向が強い。その一方で、中国語では同一の聞き手に対して、一貫した同じ二人称代名詞が用いられる。このほか、特定の人間関係において、「你」と敬称の「您」の混用も見られる。同一人物に対し、「你」と「您」がどのように使い分けられているのかを、「補助資料」より①②③の3組を取り上げ、表5に示す。

表5 同一人物に対する「你」と「您」の使い分け（「補助資料」）

話し手・聞き手・人間関係				二人称代名詞の種類	
				你	您
①	江建平	江建平の母	母親	1 (3.0)	32 (97.0)
②	胡小玲	江建平の母	姑	4 (30.8)	9 (69.2)
③	劉東北	林小楓	年上の知合いの妻	6 (60.0)	4 (40.0)

( )内は%

表5における①と②の人間関係では、敬称の「您」を用いる傾向は強かったが、「你」が用いられる用例で見ると、①と②では話し手（①江建平・②胡小玲）が聞き手（江建平の母）の発話や行為を責めたり、非難したりする特別な状況で使われていることがわかった。つまり、これは尊敬すべき人物に対する敬意が非難や不満などの感情により、一時的に薄れた結果であると考えられた。また、③では、話し手（劉東北）と聞き手（林小楓）は親しい人間関係ではなく、同世代であったことから、「你」が用いられる傾向がやや強くなっていたが、ここで「您」が用いられた用例を見ると、話し手（劉東北）が聞き手（林小楓）に何かを頼む際などの状況下で使用されていることがわかった。つまり、依頼という言語行動は、被依頼者（聞き手）に迷惑をかけることから、聞き手の機嫌を取ろうとする心情の反映だと考えられる。このように、中国語における「你」と「您」の使い分けは、話し手の聞き手に対する暫時的な心理変化によるものであると推測できた。

### 3.2.2 二人称代名詞と指示呼称語の組み合わせ

次に、この点を二人称代名詞と指示呼称語の組み合わせから、さらに考えてみる。

続（1989）は、中国語での「二人称代名詞＋指示呼称語」の組み合わせは、「ミクビリ・ナジリ」型で、マイナス的な待遇意識を表しており、一方、「指示呼称語＋二人称代名詞」の組み合わせは、「オモイヤリ・オダテ」型で、プラス的な待遇意識を表していると述べている。ここで、二人称代名詞と指示呼称語は、いずれも聞き手を指し示す指示表現で、同格関係を表している。この指摘から、「補助資料」と「翻訳資料」に表れている「二人称代名詞＋指示呼称語」の組み合わせでの用例数は、それぞれ5例と11例あった。

以下、(7)は、これに該当する「補助資料」での具体的な用例である。また、(8)は、「翻訳資料」での具体的な用例である。

#### (7) 管軍・男 → 胡小玲・女 (恋人)

要不 就是 你 胡小玲, 自己 想 复婚 了 是不是?

でなければ (副詞) あなた 胡小玲 自分 したい 再婚 (助詞) (疑問を表す)

(半路夫妻)

#### (8) チョンジェの母・女 → ミヌ・男 (息子の取引先の職員)

K: ywuminwussi tekpwun-ey cengmal cohun-ke paywessneyyo. yeksi nam-un nam-ineyyo.

ユ・ミヌさん お陰で 本当に 良い こと 習いました はやり 他人 は 他人ですね

hansikkwu-chelem khiwepwassca soyong epstanun-ke iceyya alassneyyo.

同じ家族 のように 育てても 無駄だということ 今やっと 分かりましたよ

J: ミヌさんのお陰でとてもいいことを学ばせてもらったわ。やっぱり他人は他人、同じ家族のように育てたって無駄なのよ。それがよくわかった。

C: 因为 你 敏右, 我 明白了 一个 道理。外人 就是 外人, 就算是 当女儿 のために あなたミヌ わたし 分かった 一つ 道理 他人 である 他人 仮に である 娘のように

来 养 也是 没有用的。我 到现在 才 知道。

(介詞) 育てる も 無駄なのだ わたし 今になって やっと 分かる

(夏の香り)

(7) は、話し手（管軍）が聞き手（胡小玲）の「癌を患った義理の母の希望どおり、元夫と仲直りする」という発話に対して怒る場面であるが、指示の機能から見れば、目の前の聞き手を二人称代名詞で呼ぶだけでも充分である。しかし、二人称代名詞の後に、同格関係を表す名前を加えることで、さらに「再婚を望んでいる人は、義理の母でもなく、元夫でもなく、あなた自身だ」というネガティブなニュアンスを強く表している。一方、(8) では、話し手（チョンジェの母）が、聞き手（ミヌ）のせいで、娘のように育てた第三者（ヘウォン）に裏切られたと不満を漏らす際の発話である。既述のように、敬称の「您」は、敬意を表す二人称代名詞であるが、このタイプの組み合わせでは、尊敬の意味は失われ、皮肉の意味に変わっている。例えば、「您李主任（李主任）」や「您王老板（王社長）」などでは、主任・社長に対し尊敬の意を表すのではなく、風刺の意を表している。このことから、「二人称代名詞＋指示呼称語」の組み合わせは、話し手の聞き手に対するマイナス的な待遇意識の表れであることがわかる。

では、「指示呼称語＋二人称代名詞」の組み合わせでは、どうなのであろうか。

このタイプの組み合わせでは、指示対象が聞き手であるため、指示呼称語に呼びかけ語と同様なものが来ることが特徴である。ただし、ここでの指示呼称語は、聞き手への注意を引くためのものでなく、注意喚起の機能が弱まったものと言える。この内、「指示呼称語＋您」の組み合わせは、まず聞き手の身分に相応しい指示呼称語で呼び、その後に敬称の「您」が付け加わることで、「オモイヤリ・オダテ」型のプラス的な待遇意識を表す。

「指示呼称語＋二人称代名詞」の組み合わせである、以下の(9)と(10)では、実際「オモイヤリ・オダテ」型のプラス的な待遇意識を表しているのだろうか。

(9) 劉東北・男→林小楓・女（年上の知合いの妻）

嫂子 你 一定 得 把 当当 叫过来。  
お姉さん あなた 必ず しなければならない を 当当 呼んで来る (中国式離婚)

(10) 宋建平・男→劉東北・男（年下の知合い）

刘东北 你 不 觉得 你 自己 过分 哪？  
劉東北 あなた〈否定〉思う あなた 自身 行き過ぎる〈疑問詞〉 (中国式離婚)

(9)と(10)での網かけ部分の「嫂子你（お姉さん＋あなた）」と「刘东北你（劉東北（人名）＋あなた）」は、「指示呼称語＋二人称代名詞」の組み合わせのタイプである。まず、(9)での「嫂子」は、話し手の聞き手に対する通常の呼称である。さらに、その後に通常用いられる二人称代名詞の「你」が付け加えられたことで、プラス的でもなくマイナス的でもない、中立的な待遇意識を表すものとなっている。つまり、これらは聞き手への指示を再度確認するものであったと思われる。一方、(10)での「刘东北你」を見ると、指示呼称語は「姓（劉）＋名（東北）」のフルネームで構成されている。これは、話し手の聞き手に対する通常の呼称「東北」と異なるものである。上述のように、通常用いられないフルネームで呼ぶことは、聞き手との距離を置くことで、

聞き手に対する怒りや不平などのネガティブな気持ちの表れを示す。よって、(10)での「指示呼称語＋二人称代名詞」の組み合わせは、先述のように、続(1989)が指摘したプラスの待遇意識でなく、取ってマイナスの待遇意識を表しているものと言えた。

要するに、「指示呼称語＋二人称代名詞」の組み合わせがどのような待遇意識を表すかは、組み合わせの形式によるものでなく、指示呼称語の表れ方に左右されるものと言え、この意味では、二人称代名詞は聞き手への指示確認の役割を果たしていると考えられた。

元来、話し手の聞き手に対する怒りや不満もしくは思いやりなどの感情は、表情や話し方や声の高低などで判断できる場合が多いが、本稿ではそれを言語表現に限って見ている。それだけ見ても、日本語と朝鮮語では、二人称代名詞そのものが待遇性を持っているのに対し、中国語では「対称詞」の組み合わせによって表す待遇意識の程度が違う場合があると言えた。その上で、「対称詞」の選択は、日本語と朝鮮語では、話し手と聞き手の属性により左右される傾向があった。これに反し、中国語では、話し手の聞き手に対する発話時の一時的な感情の影響を大きく受けると言えた。

#### 4. 終わりに

以上、日本語・朝鮮語・中国語における「対称詞」について、本稿では、社会言語学的対照の観点から待遇性と関連付け論じた。

「対称詞」は、人称詞の一種として、人間関係のあり方を表すという点では、三言語とも共通しているが、その使用実態は、各言語間で異なりを見せる。また、対人関係や場などの様々の要因の影響も受け、幾つかの違いがある。これまでのことを要約すれば、まず、日本語と朝鮮語の二人称代名詞は、話し手と聞き手の人間関係の影響を受けやすく、また、どのような二人称代名詞を用いるかによって、指示対象との人間関係は推測できる。この意味において、二人称代名詞自体が待遇表現の一つと言える。一方、中国語の二人称代名詞は、日本語と朝鮮語と比べ、種類は少なく、二人称代名詞のみでは待遇意識を表すことはできない。よって、中国語ではそれを通常使用するものとは異なる「対称詞」を使うことで、二人称代名詞の待遇表現に欠けている部分を補う。形式的には、「対称詞」の呼格的用法(「目下に対する親族名称による呼びかけ」「フルネームによる呼びかけ」など)、及び、二人称代名詞と指示呼称語の組み合わせでこれを行う。その上で、実際の使用では、話し手の指示対象に対する暫時的心理変化を表す傾向がある。このように、「対称詞」の使い分けにおいて、日本語と朝鮮語では対人的要因を優先的に考慮するのに対し、中国語では話し手の暫時的な感情を優先させると言える。この意味では、中国語の待遇表現の仕組みは、日本語と朝鮮語とは異なりを見せていると言えた。

## 参考文献

---

- 金丸美美 (1993) 「人称代名詞・呼称」『日本語学』12 (5) 明治書院 109-119
- 姜 錫 祐 (1998) 「待遇行動としての韓国語における人称表現」『日本語学』17 (9) 明治書院 50-53
- 鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』岩波書店
- (1999) 『ことばと文化 私の言語学』岩波書店
- 宋 有 宰 (2003) 『日本語と韓国語の呼称表現の対照研究』金沢大学大学院社会環境科学研究科博士学位論文
- 続 三 義 (1989) 「中国語の人称代名詞と指示呼称語との組み合わせについて」『中国語学』236 日本中国語学会 70-78
- 田窪行則 (1997) 『視点と言語行動』くろしお出版
- 三 輪 正 (2000) 『人称詞と敬語一言語倫理的考察一』人文書院
- Hyunjung Lim (2006) 「代名詞的用法の対称詞用法に関する日韓対照研究」『人間環境研究』5 (1) 広島修道大学人間環境学会 1-19

## 謝辞

本研究は、2010年度中国江蘇省教育庁高校哲学社会科学基金項目 (No.2010SJD740011) の補助を受けて行われている。